

3. グローバル健康環境教育研究推進プログラム

本プログラムでは、グローバルな医療人としての広範かつ高度な専門性と高い使命感、領域を超えた汎用力を修得し、国際的な保健衛生・公衆衛生に指導的な立場で貢献できる高度先導的薬剤師として、文理協働による国際的な医療活動や、発展途上国における感染症予防や食・環境の安全確保、さらに国際的な保健衛生の課題解決や発展途上国での保健衛生・医療教育に貢献できる薬学研究者や薬剤師の養成を目指す。

参画大学においては、すでに第2期中期目標期間中に実施した「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」事業ならびに、第3期中期目標期間中から引き続き実施している「高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発」事業において、6年制学部及び4年制大学院博士課程の教育研究プログラムの充実を図っており、その発展的な継続、さらにはこれらを基盤とする新たなプログラムの開発と実施が期待される。

6年制薬学部及び大学院博士課程の教育研究における「グローバル健康環境教育研究推進プログラム」については、国公立大学における豊富な国際的な教育研究交流、特に東南アジア等における感染症対策などの保健衛生・公衆衛生上の課題や環境問題、食糧問題といった健康環境に係る研究を実施している機関・大学との交流実績を基盤として実施する。本プログラムとしては、グローバルな視点での実践的なコミュニケーション能力を修得する実践的語学教育プログラム（共通）から、学部及び大学院博士課程における国際保健衛生・公衆衛生教育研究プログラムや文理協働型発展途上国健康環境インターンシッププログラムといった発展途上国を中心とした海外における教育研究活動の実施が挙げられる。後者については、SDGs達成に向けた実践的フィールドワークなどが有用である。

【2022年（令和4年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<富山大学>

○ 薬学概論の一部 (*)

・学部生を対象。公務員として活躍している薬剤師から仕事内容等の講義を受け、薬剤師が健康環境へ貢献していることを学ぶ。

○ 東洋医学概論

・学部生を対象とし、附属病院で和漢診療科の担当医師から、病態の認識方法や治療概念が大きく異なる東洋医学と西洋医学の調和を推進していくため、漢方医学の考え方、疾患概念、代表的な漢方薬の適応、副作用の注意事項などについての講義。

<岡山大学>

○ 山田養蜂場 訪問研修会 (*)

- ・学部生・大学院生を対象として、企業の説明を受け、研究所にて健康食品や化粧品の素材研究等について学び、商品開発の体験型研修を行った。また、品質保証部門についての説明も受けた。2022年9月2日開催。学部生（1～4年生）7名、事業運営委員会委員の教員3名、他教員1名。

<静岡県立大学>

○薬食生命科学総合学府の設置

- ・健康長寿を推進する研究・教育を実施するため、平成24年度より大学院を食品栄養科学部との融合型にし、教育、研究カリキュラムを実施している。対象は大学院生。

2) その他（大学としての取組）